

半夏ノ如シ、熊野ニ産スルハ微シ黄色ヲ帶ブ、藥肆ニテ售ル、漢渡ノモノ上品ナリ、根圓ク或正圓ナラズ、外皮黃褐色、内ハ色黃ナリ、唐山ニテ小キ半夏ヲ煮テ、色ヲツケ偽ルコト、錦囊秘録ニ見エタリ、

增漢渡ニ鬱金汁ヲ以テ零餘子ヲ煮タル者アリト云、意ヲ注グベシ、又近年和州宇陀ニテ唐種ヲ作り出ス、然レドモ色白シ下品ナリ、

〔草木育種藥下品〕延胡索 漢種のものには牡丹葉と云、其葉牡丹に似て小なり、根圓零餘子のごとくにして黄色なり、又尾張國より來るものに、三葉のものあり、形狀ハ牡丹葉に似て葉中に紫斑あり、花は皆地錦苗に似て大なり、二種ともに藥用に上品なり、又同國より來るものに竹葉のものあり、葉至て細く竹葉に似て甚小なり、武藏國道灌山に生ずるものは竹葉に似て、葉稍濶く、根小く淡白し下品也、山の野土黒ほくに植べし、秋冬の中、灰人糞少入、土を肥置、植替てよし、兎好て此の根を掘食ものなり、よく圍置し、

〔武江產物志 藥草〕道灌山ノ產 延胡索ニキノカシラ